

特別活動 全学年 単元名「シーカヤック体験」(3時間)

1 単元設定の理由

シーカヤックを体験し自然の良さを味わわせたい。

2 単元目標

基本的操作を通してシーカヤックの安全な取り扱いを知り。あわせて自然の良さを味わう。

3 単元の評価基準

- ・シーカヤックの安全な乗り方(扱い)について理解し、安全に活動することができる。
- ・海洋レジャーの可能性について考えることができる。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	シーカヤックの各部の名称 取扱い上の注意 準備運動 パドルの持ち方と基本的な動き	・ルールやマナーについても取り上げる。
2～4	シーカヤックの基本操作 ・乗り込みと離岸水 ・前進 ・後退 ・停止 ・転回 ・倒れた時の対応 ・浸水した時の対応 ・上陸 色々な楽しみ方 ・ツーリング ・レース 後片付け	・各自一艇に乗る。 ・指導者の方の生き方についても交流させる。
外部連携 / 教材等 シーカヤック 指導者4名		

総合的な学習 全学年 単元名「 船の仕事について学ぶ 」(2時間)

1 単元設定の理由

日頃の生活では海運のお世話になっているが、どのような人がどのような仕事をしているのか、知らないのが現状である。実際に海にかかわる職業人を養成する学校の状況や体験を通して、人や自然、そして社会と海がつながっていることを、実感を伴って理解させ海を身近に感じられるようにする。

2 単元目標

- 日本の海運の状況について知らせる。
- 海運に関する仕事に携わる仕事を目指す若者の姿から自分の生き方を考えることができる。

3 単元の評価基準

- ① 日本の海運の状況を知ることができる。
- ② 海運に関する仕事に携わる仕事を目指す若者の姿から自分の生き方を考えることができる。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	日本の海運の状況を知る。 船の仕事の実際を知る。(1日・1年間の仕事のスケジュールや休暇・待遇など) 船員になるにはどのような進路(学校)を選んだら良いのか知る。	統計資料や紹介ビデオを使って具体的に説明する。
2	手旗信号について知る。	積極的に質問したり、体験をさせる。
外部連携 / 教材等 東京海洋大学海事普及会		

特別活動 全学年 単元名「藻塩づくり体験」(4時間)

1 単元設定の理由

地域の古代の製塩方法とその製法を復活させた人々の活動の様子や思いを知る。

2 単元目標

- ① 藻塩づくり体験を通して、古代から海との関わりと製塩の方法を知る。
- ② 古代製塩の技術を再現し、地域おこしをしようと頑張っている方々の様子を知り、自分たちの今後の活動や生き方の参考にする。

3 単元の評価基準

- ③ 古代から海との関わりと製塩の方法を知ることができる。
- ④ 古代製塩の技術を再現し、地域おこしをしようと頑張っている方々の様子を知り、自分たちの今後の活動や生き方の参考にすることができる。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	藻塩の説明 ① 製塩のしくみを知る。 ② 古代製法の復元への取組の歴史について知る。	藻塩づくり博物館施設見学 博物館の担当者に積極的に質問させる。
2～4	藻塩づくり体験 ① 煮詰める作業 海水の沸騰を管理し吹きこぼれないように管理する。(どのような工夫があるのか知らせる。) ② 出来た塩の味や状態を確認し観察させる。	安全に留意し、指導の方の注意に従うよう指導する。
外部連携 / 教材等 藻塩博物館 藻塩づくり指導員		

